

その五 「いわき・さかい生徒会交流会」

訪 問 日 平成29年12月26日（火）
訪問場所 堺市立堺高等学校
主 催 者 堺市立中学校教育研究会特別活動第Ⅲ部会
訪 問 者 林 美輝副議長、山口 典子委員（主催者として、鶴山 剛委員）

■ 概 要

「いわき・さかい生徒会交流会」とは

○堺市では、これまで「堺市被災者支援交流事業」をはじめ、いわき市の子どもたちとのスポーツを通じた交流を行ってきました。

○今回は、上記の交流を発展させ、いわき市の「いわき生徒会長サミット事業」の取組のなかで、堺市を訪問してくるいわき市と堺市の中学生の生徒会代表者が、堺市の産業や文化と一緒に学ぶ交流会です。

○この交流会は、平成29年12月25日（月）から26日（火）にかけて行われ、大まかなプログラムは次の通りです。

【1日目（12月25日）】

○歓迎会と、各生徒会活動に関するプレゼンテーション。

【2日目（12月26日）】

○両市の生徒混合で6つの班に分かれて、堺の産業・文化と一緒に学ぶために、「堺を支え、堺を守り、堺を育てる」人々を訪問し、フィールドワークを実施しました。

○学んだことをもとに、他の生徒や参加した教職員その他関係する市職員等の前でプレゼンテーションを行いました。



プレゼンテーションの前に漫才でアイスブレイクです。分かりやすい表わし方のひとつ。場が和み、親近感がわきました。



プレゼンテーションのひとつ「津久野ふれあい将棋フェスタ」です。平成28年度の「ぶらり社会教育」で訪問した活動です。こんなところにも「つながり」がありました。

最後に社会教育委員から感想を述べました。堺の中学生の素晴らしさを実感できたことを喜びました。



「堺市立中学校教育研究会特別活動第Ⅲ部会」とは

- 「堺市立中学校教育研究会特別活動第Ⅲ部会」は、堺市のすべての教員が参加する研究会のうち、生徒会に関わる部会です。(※現在、第Ⅱ部会は活動していません。)
- 主に、次の活動を行っています。
- 「生徒会代表者のつどい」
 - 夏季休業期間中に一泊二日で「生徒会代表者のつどい」(平成28年度が第54回)を行い、全43中学校から5名ずつの生徒会役員が参加しています。「生徒会代表者のつどい」は、6つの分科会からなり、「A分科会 リーダー会議」では、平成26年度は「いじめ問題」、平成27・28年度は「スマホをめぐるトラブル」について取り組みました。
 - 平成27年度より、10月に「生徒会リーダー会議」を行い、「生徒会代表者のつどい」後の各学校での取組について生徒会長が意見交換をしています。
- 「リーダー講習会」
 - 1月には「リーダー講習会」を行い、1・2年生のリーダー養成に取り組んでいます。そのなかでは、各区の生徒会の代表など9名が教育長と話しあう「生徒会リーダーフォーラム」を、また、10月の「生徒会リーダー会議」以降の生徒会活動の交流の場として、再度「生徒会リーダー会議」を行っています。

■ 「堺が考える社会教育」の観点からみると

ともに学んだり、教えたりするためには

堺市社会教育委員会議提言書 13頁

○堺市立中学校教育研究会特別活動Ⅲ部会がいわき・さかい生徒会交流会を初めて実施するにあたり、主役となる子どもたちの成長にとって、堺の魅力を知ることの大切さに気づき表わすことで中学生のみでなく、会場にいた人々と分かちあっていました。

例えばこんなこと【気づく】

○堺の特色が、「堺を支え、堺を守り、堺を育てる」人々による日々の努力の積み重ねによって形成されていることに気づくとともに、ものづくりや地域を作ることが、人間形成や人生と密接に関わるということに気づいていました。

○日頃、出会う機会が少ない他地域や他校の生徒会などで活躍している人々とフィールドワークやプレゼンテーションをともにすることで、他の生徒の考え方を知るなど貴重な学びの機会があるということに気づいていました。

例えばこんなこと【表わす】

○フィールドワークを通じて学んだことをクイズや寸劇など伝わりやすい表わし方を考え、他のグループの生徒や教職員の前で発表していました。

例えばこんなこと【分かちあう】

○自分が学んだことを学年、世代、そして地域の異なる人たちと分かちあっていました。

○6グループに分かれて学び感じた内容をまとめ、広いホールに場所を変えて集まり発表し、学年、世代、そして地域の異なる人たちと分かちあっていました。



プレゼンテーションにクイズを取り入れていました。楽しさが加わり、自然と笑顔になりました。

○参加した中学生は男子より女子の方が若干多く、男女共同参画という「人権」の観点、堺に受け継いできた産業・文化、地域づくりを学ぶという「先人」の観点などの堺らしさがいわき・さかい生徒会交流会の出発点だと考えました。

例えばこんなこと【人権】

○参加した生徒も男子に偏ることなく、むしろ女子の方が若干多く、今後、さらなる多様性を促していくことで、一人ひとりの人権を尊重する堺の次世代を担う市民の育成につながると思います。

例えばこんなこと【国際】

○堺の伝統的な産業が海外との取引のなかで成立することで、独自のものづくりを通じた地域づくり、そしてひとづくりにつながっています。

例えばこんなこと【先人】

○堺の先人から受け継いできた産業・文化や地域づくりを発展的に継承してきていることをしっかりと学ばれていました。

さまざまな「つながり」

○これからの堺を支える中学生がいわき・さかい生徒会交流会の「担い手」となり、包丁、線香、染物、敷物、鷹の爪を作る伝統産業を活用し、堺への愛着を醸成することができていました。

例えばこんなこと【担い手】

○他地域や他校の生徒、教職員、市職員のほか、フィールドワーク先で説明などをしてくれた地域の方々との「つながり」が芽生えたのではないのでしょうか。

例えばこんなこと【場所・空間】

○市内の店舗や事業所等を活用することで、どのようなことが行われているかということを知ることができたと思います。

例えばこんなこと【物事】

○市内の伝統産業をテーマ（題材）とすることで、体験活動を活用し、堺を知り、また知ってもらうことができました。

○堺の伝統産業による生産物（包丁、線香、染物、敷物、鷹の爪）を見る観点が今後変わってくるのではないのでしょうか。

「つながり」の質

○一人ひとりの個性を尊重した生徒同士の「つながり」、生徒と伝統産業の担い手をはじめとする地域の方々との堺の誇りを共有できる「つながり」ができていました。

例えばこんなこと【違いを認めあう「つながり」】

○初めて出会う人、あるいは、学年、世代、そして地域の異なる人たちとともに、例えば漫才が得意な生徒、

発表が得意な生徒など、それぞれの個性を尊重しながら「つながり」という学びの場を形成しているのではないのでしょうか。

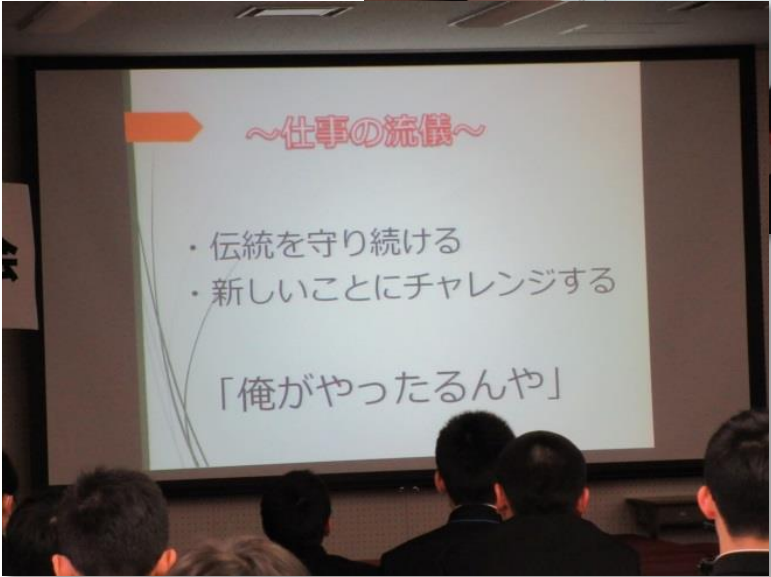
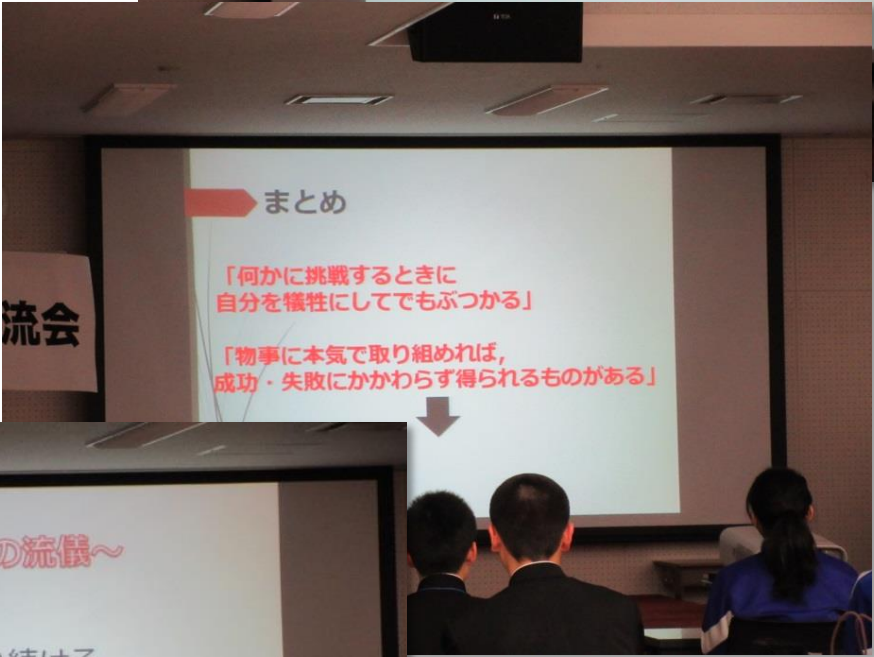
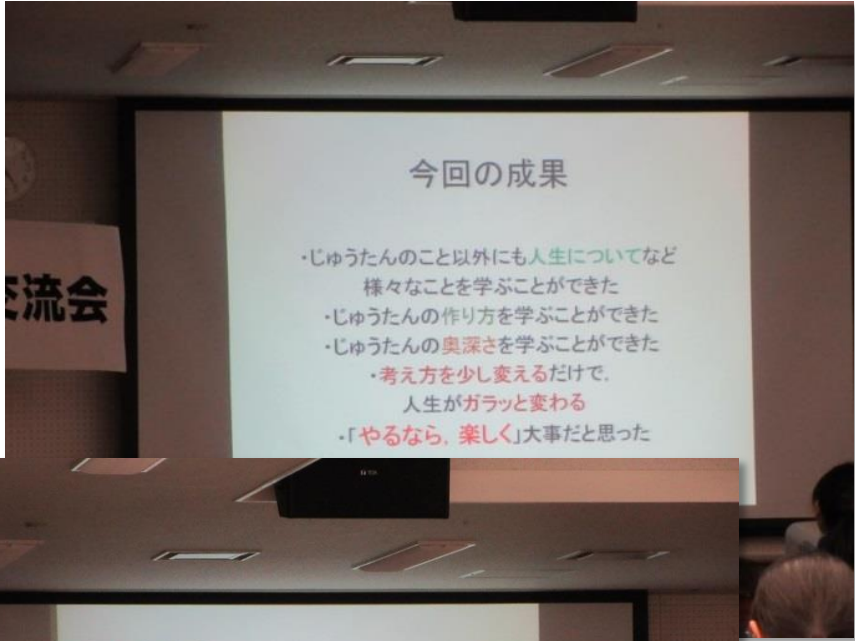
例えばこんなこと【外に開かれている「つながり」】

○堺市立中学校教育研究会特別活動第Ⅲ部会という市内の他校の生徒会に開かれた「つながり」のみならず、市内企業や団体との「つながり」、市内に留まらず他校、他地域の方々に開かれた「つながり」が見られます。

例えばこんなこと【自ら進んでいく「つながり」】

○初めて出会う人たちのなかにおいて、遠慮するのではなく、率先して一人ひとりの「つながり」を自ら進んで形成することが求められると思いますが、今回そのような生徒の姿を見ることができました。

プレゼンテーションの内容には、「考え方を少し変えるだけで人生がガラッと変わる」など、堺市社会教育委員会議提言書に記載されていることがたくさんありました。



■ つながるといいな

○堺にはたくさんの伝統工業・産業があるので、そこで活躍されている方々とつながることができる、さらに魅力が増すと思いました。

○会場が、堺市立堺高等学校ということもあり、その教職員、そして生徒も参加することでさらに多様な「つながり」という学びの場になると思います。

○東日本大震災で被災され、堺市へ避難されている人々、東日本大震災への支援を継続している団体、堺市消防局、危機管理室や伝統産業や市内企業と「つながり」のある商工会議所などとの「つながり」が考えられます。

■ 訪問して感じたこと

○当日、主催者から伺った話のひとつに「安心して自分をさらけ出す」ということの大切さに関するものがありました。残念ながら通常の学校生活においては、同調圧力が強く自分自身の思いや考えを表現したりすることがはばかれる場合もあるのだと思います。今回のような場づくりがさらに広がればと思いました。

○交流会が始まる際に漫才をアイスブレイクとして行い、リラックスした雰囲気を出すことから始めたことに興味しました。

○5、6人一組のチームでパソコンを使いパワーポイントを作成するそのスピード、能力に驚きました。

○クイズや寸劇を交えながら、自分の考えを伝えようとする熱意ある姿勢が素晴らしいと思いました。

■ 主催者からのメッセージ

社会教育って？

○生徒たちが学校の枠を超えて活動していく機会に恵まれ、そのなかで自分らしさを発揮し自分たちの良さを膨らませていく。それが学校教育が社会教育につながっていく姿だと考えます。堺市では全中学校生徒会が参加する「代表者のつどい」があり、それを元に取り組んだのが「いわき・さかい生徒会交流会」でした。

「つながり」を広げるって？

○生徒会部会としては、いわき市との交流会は初めての試みでした。この経験を2月に行う社会教育フェスタにつなげ、生徒が学び加えて大人が生徒から学ぶ機会を共有していきます。また、平成30年度には夏季休業中にこの交流会を行い、「生徒会代表者のつどい」にもいわき市代表にも参加してもらう予定です。

訪問してみたいはいかがですか？

○平成30年8月20日(月)21日(火)に大阪府立少年自然の家で行います「堺市立中学校生徒会代表者のつどい with いわき市生徒会」(仮称)においでください。

■ 社会教育委員会議の活動や提言書については、堺市ホームページで公開しています。

